

第 6 回 日 本 腰 痛 研 究 会

1998年11月21日 (土)

宮崎観光ホテル

〒880-8512 宮崎県宮崎市松山1-1-1

TEL 0985-27-1212 FAX 0985-25-8748

会長 田島直也

宮崎医科大学整形外科学教室

〒889-1692 宮崎県宮崎郡清武町大字木原5200

TEL 0985-85-0986 FAX 0985-84-2931

第6回日本腰痛研究会開催にあたって

会 長 田 島 直 也

第6回日本腰痛研究会を今回宮崎で開催させて頂くことになり、非常に光栄に存じています。腰痛は多くの人が罹患し、ヒトが2本足で起立・歩行することによる宿命的なものであるといわれており、整形外科疾患の中でも重要なもののひとつです。腰痛の原因・病態は多岐多様で整形外科領域以外のものもあり、診断を明確にすることが肝要です。本研究会はこの腰痛に対し、単に診療面を取り扱うばかりでなく、予防、疫学、検診と多方面からアプローチし、産業、労働衛生学的な面への寄与も期待されています。本研究会には研究会誌も発刊され、今後わが国における腰痛研究の中核になるといっても過言ではないと思います。

今後は個々の問題を掘り下げ、集中的に討論し、ひとつの方向を示されるところは指針を出し、治療面も保存的治療、手術的治療それぞれへの適応、長期予後から研究会としての見解を示すべきだと思っています。

今回の第6回研究会の特別講演は永年腰痛の治療にあたってこられた中野 昇 先生に“35年間行ってきた腰痛に対する保存的療法の実際”をお願いしました。また、主題は“職業性腰痛の予防”をとりあげました。演題数は多くありませんが、それぞれの立場からの発表を期待しています。これが全国の腰痛検診、ひいては腰痛発生の予防、職場等の労働衛生上の改善につながっていけば幸いです。

本研究会は教室員を中心とした手作りのため、何かと不行届の点が多々あることとは存じますが、どうぞ御寛容頂きますようお願い致します。11月の宮崎は気候も良く、観光シーズンでもあります。多数の方の御参加のもとに研究会を実あるものに致したいと念願致しております。何卒御協力頂きますようよろしくお願い致します。

1998年11月